

令和7年度砂川市小中一貫教育推進委員会 各ワーキンググループの取組状況について

令和7年7月現在

1 学校経営ワーキンググループ【別添1】

(1) ねらい

- ① 義務教育学校開校に向けて、経営方針を定めたり、校内体制等の整備を進めたりすることを通して、円滑な学校運営につなげる。
- ② 各ワーキンググループが検討・作成した学校運営に関わる詳細について、学校経営者の視点から実効性や持続可能性を勘案した上で評価し、指導・助言を行う。

(2) ゴール

- ① 学校経営方針（案）を精査し、完成させるとともに、グランドデザインを作成する。
- ② 校内体制についての詳細を検討し、決定する。
- ③ 砂川学園におけるPTA、CS（学校運営協議会）の在り方を検討する。

(3) 取組内容（赤字：令和6年度に取り組んだ内容 青字：令和7年度に取り組む内容）

学校経営計画及びグランドデザインの完成に向けて、次のことについて検討・決定する。

☒ 学校経営に関わること	☐ 校内体制に関わること	☐ 適応指導教室の運営
☒ 学校教育目標	☒ 学年・ブロック体制	☐ 通級指導教室の運営
☒ 目指す地域像	☒ 校務分掌体制	☐ 学校HPの運用
☒ 人事に関わること	☒ 専科体制	
☒ 申請する加配	☐ 部活動体制	☐ PTAに関わること
☒ 市費職員の人数	☒ 特別委員会体制	☐ 学校運営協議会に関わること

2 教育課程ワーキンググループ【別添2】

(1) ねらい

教務的視点から、義務教育学校開校時に学校教育活動がスムーズに推進できる素地をつくる。

(2) ゴール

- ① 9年間を見通して教育課程を検討・作成する。
- ② 「総合的な学習の時間」の教育課程について、9年生部分の内容を修正する。
- ③ 特別教室割を作成する。
- ④ 年間行事予定を完成させ、時数集計を終える。
- ⑤ 通知表様式（デジタルデータ）の詳細を決定・作成する。

(3) 取組内容（赤字：令和6年度に取り組んだ内容 青字：令和7年度に取り組む内容）

	作成するもの	決めるべきこと
令和6年度末までに完了した内容	☒ 日課表 ☒ キャリア・パスポート ☒ 「よくわかる砂川学園」 ☒ 特別支援教育CNリーフレット ☒ タブレットスキル系統表 ☒ スタートカリキュラム ☒ 全体計画、経営計画	☒ 「プール学習」のもち方 ☒ 通知表の内容 ☒ 学習に関わる持ち物の統一 ☒ 使用するノートの統一 ☒ 教室環境の統一（備品整備） ☒ 旅行的行事の仮予約 ☒ タブレット端末持ち帰りのきまり ☒ 学校行事に関わること ☒ 儀式的行事 ☒ 旅行・集団宿泊的行事 ☒ 教務関係（参観、家訪、面談等）
令和7年度中に取り組む内容	☐ 教育課程 ☐ 各教科 ☐ 総合的な学習の時間 ☐ 児童・生徒会活動 ☐ 特別支援 ☐ 学校行事 ☐ クラブ活動 ☐ 時間割 ☐ 特別教室割 ☐ 通知表の様式 ☐ 年間行事予定表 ☐ 学校要覧	☐ 教材・副教材 ☐ 「スキー学習」のもち方 ☐ 後期課程保体「武道」のもち方 ☐ 指導要録のデータ整理 ☐ 校務支援システムの利活用 ☐ テスト発注 ☐ タブレット端末活用のきまり ☐ 普通教室の備品について ☐ スクールバスについて

3 学校連携ワーキンググループ【別添3】

(1) ねらい

- ① 義務教育学校開校に向けて、市内の小学校間で児童の交流をもつことにより、人間関係づくりを円滑に進め、児童の不安を解消する。
- ② 家庭学習に取り組む習慣を身につけさせるとともに、小学校での学習内容の理解・定着を高め、義務教育学校後期課程における学習にスムーズにつなげる素地をつくる。
- ③ 中学校教員の専門的な指導を早期に受けることにより、児童が義務教育学校2ndステージから始まる教科担任制に慣れるとともに、中学校側（後期課程側）が児童の様子を観察、把握する機

会とする。

(2) ゴール

- ① 「家庭学習チャレンジ週間」の取組を通じ、1回目から4回目までの家庭学習の状況を分析し、学習時間の向上を図る。
- ② 「家庭学習チャレンジ週間」の取組を通じ、1回目から4回目までの保護者コメントの状況を分析し、保護者関与の向上を図る。
- ③ 小学校版に寄せた中学校の「共通チャレンジシート」を作成する。
- ④ 計画された乗り入れ授業を行い、市内5校の5・6年生の90%以上が、「中学校の先生の授業をまた受けてみたい」「中学校の先生の授業はわかりやすかった」という気持ちを抱かせる。
- ⑤ 計画された事業を行い、市内5校の2～6年生の95%以上が「楽しかった!」、90%以上が「交流できた!」という気持ちを抱かせる。
- ⑥ 「砂川市版キャリア・パスポート」を活用する。

(3) 取組内容

昨年度に引き続き、次の取組を継続実施する。

☐ 家庭学習チャレンジ週間 ☐ 鑑文書（年4回） ☐ チャレンジシート（年4回） ☐ アンケート集計（年2回） ※分析・考察	☐ 乗り入れ授業 ☐ 計画 ☐ 実施 ☐ アンケート集計 ※分析・考察	☐ 5校交流会（4年） ☐ 合同遠足（5・6年） ☐ 学年交流会（2・3年） ☐ 計画 ☐ 実施 ☐ アンケート集計 ※分析・考察
--	---	---

4 学校事務ワーキンググループ【別添4】

(1) ねらい

義務教育学校開校に向けて、学校事務に関わる事柄について、市内で統一させるべきことについての検討・協議、決定をする。

(2) ゴール

義務教育学校開校時の学校事務業務について、次の事項を検討・決定する。

- ① 私費会計の取扱いについて
- ② 口座の統一について
- ③ 引き落とし日の統一について
- ④ 事務職員の業務分担について

(3) 取組内容とスケジュール

① 取組内容

(2)の①～④の事柄について検討し、決定する。

② 取組スケジュール（案）

	日程（案）	主な内容
第1回	5月16日（金）	構成員と今年度の取組内容の確認 論点の確認
第2回	7月16日（水）	私費会計の取扱いについて 口座の統一について
第3回	8月28日（木）	引き落とし日の設定について 事務職員の業務分担について

5 指導活動ワーキンググループ【別添5】

(1) ねらい

義務教育学校開校時から、安定した児童生徒指導や、子どもたちの主体的活動がスムーズに推進できるよう、生徒指導の基盤と学級活動、児童生徒会活動等の諸活動の推進計画を作成する。

(2) ゴール

- ① 部活動の詳細について検討・作成する。
- ② 校則について教職員のコンセンサスをとる場を設けるとともに、保護者に説明する。
- ③ 清掃について、詳細を決定する。
- ④ 防災計画（火災）を確定し、消防に各種届を提出する。

(3) 取組内容（赤字：令和6年度に取り組んだ内容 青字：令和7年度に取り組む内容）

	作成するもの	決めるべきこと
令和6年度末までに完了した内容	☒ 生徒指導に関わること ☒ 校則（学校生活のきまり） ☒ 危機管理マニュアル ☒ 各種災害BCP ☒ 学校いじめ防止基本方針 ☒ アレルギー対応マニュアル ☒ 生徒指導共有ファイル いじめ・問題行動・不登校 等 ☒ 児童生徒会活動に関わること ☒ 投票用紙 ☒ 委員会割当表 ☒ 経営計画	☒ 生徒指導に関わること ☒ 校則（学校生活のきまり） ☒ 自転車通学のもち方 ☒ 児童生徒会活動に関わること ☒ 児童会役員の構成 ☒ 行事への参画のさせ方 ☒ 委員会の内容と数 ☒ 役員改選の時期 ☒ 学校行事に関わること ☒ 文化的行事 ☒ 勤労生産・奉仕的行事 ☒ 児童・生徒会行事

令和7年度中に取り組む内容	□生徒指導に関わること（未着手分） □自転車通学のきまり（申請書） □防災計画 □SC・SSWだより □スクールバス利用者リスト □部活動に関わること □部活動運営ガイドライン	□部活動に関わること □基本的な考え方 □運営 □地域移行 □各種手続き及び留意事項 □その他 □通学路に関わること □清掃割当てに関わること
----------------------	---	---